

埼玉県ソフトボール協会 令和7年度 第3回理事会 議事録

・日時: 令和7年12月6日(土) 9時30分～11時50分

・会場: さいたま市岸町公民館

・出席者: 23名

理事: 鈴木会長、石田副会長、豊田副会長、保崎副会長、田中副会長

磯谷理事長、平澤・関・大木・清水・河村(副理事長)

竹谷(財務)、三浦(競技) 館岡(報道) 大芦(普及)、増淵(学連)

黒須(県東) 内藤(県西)、紺野(県南)、飯嶋(県北)、岡田(中央)、上島(書記)

オブザーバー: 木持委員長(高体連)

・欠席者: 5名

理事: 篠崎副会長、山野邊副理事長、会見(総務)、松本(審判)、桑名(強化)

・配布資料:

-
1. 第3回理事会 次第
 2. 企画財政に関する統一案件
 3. 令和9年度関東高等学校大会要項
 4. 公認指導者育成についての報告
-

1. 開会

定刻午前9時30分、事務局より開会が宣言された。

出席者が定足数を満たしていることが確認され、本理事会が有効に成立した旨が報告された。

2. 挨拶

会議の冒頭、鈴木会長および磯谷理事長より挨拶があった。

・**会長挨拶:** 今年度の主要な大会が概ね終了したことに触れ、最大の課題として部活動の「民間移行」問題を提起した。この問題は、ソフトボール界のみならず、吹奏楽をはじめとする他のスポーツや文化活動にも共通する広範な社会課題であるとの認識が示された。今後、県のスポーツ協会で開催される他競技団体との会議の場においても本問題を提起し、競技団体としてこの課題にどう対応していくか、協会内外での連携と協力が不可欠であるとし、理事各位への協力を要請した。

・**理事長挨拶:** 本日の理事会では、来年度(令和8年度)の事業計画に関わる重要な議題が審議されることに言及。選手たちがソフトボールを心から楽しめる環境を築くため、協会として一致団結して取り組んでいく姿勢を表明し、活発な議論を期待する旨が述べられた。

3. 報告事項

日本ソフトボール協会(日ソ協)の理事会における決定事項や共有事項が報告された。

これらの報告は、当協会の運営方針や事業計画に直接影響を与える重要な情報共有の場として位置づけられる。

・3.1. 日本ソフトボール協会関連の報告

○ **小学生大会の開催時期変更の試行:** これまで 8 月に開催されてきた全国小学生大会において、熱中症対策が喫緊の課題となっていた。この背景から、開催時期の変更が長らく検討されてきた。令和 8 年度大会は、既に福井県（男子）及び鹿児島県（女子）での 8 月開催が決定しているため現行通り実施される。しかし、将来的な秋季開催への移行を見据え、同年度の **11 月 21 日から 23 日**に男女別の「全国大会」を試行的に開催することが決定された。この試行大会（男子：鹿児島県、女子：高知県）への参加チームの選出方法（優勝チーム、準優勝チーム、またはその他推薦チームなど）は、各都道府県協会の判断に委ねられる。本大会の参加状況や運営結果を検証し、将来的に秋開催へ完全移行する可能性が示された。

○ **生涯種別大会における得点差コールドゲーム規定の変更:** 選手の身体的負担軽減と保護を目的として、生涯種別（ゴムボール使用）の全国大会におけるコールドゲーム規定が見直された。これまでは「5 回 7 点差」のみが適用されていたが、実力差の大きい試合での選手の負担が問題視されていた。このため、公式ルールで定められている「**3 回 15 点差、4 回 10 点差、5 回 7 点差**」の規定に統一されることが決定した。

○ **全国健康福祉祭（ねんりんピック）の埼玉県開催決定:** 令和 8 年度に開催される「ねんりんピック」について、埼玉県でのソフトボール競技の開催が日ソ協理事会で正式に承認されたことが報告された。

これらの報告事項は、今後の当協会の事業計画を策定する上での重要な前提条件となる。続いて、具体的な協議事項へと審議が移された。

4. 協議事項

本理事会では、協会の事業計画、財政、組織運営の根幹に関わる複数の重要案件が審議され、承認された。

・**4.1. 大会結果及び決算報告** 第 79 回国民スポーツ大会（成年男子）において、埼玉県チームは 1 回戦で滋賀県に勝利したものの、2 回戦で強豪の宮崎県に惜敗（3-2）したことが報告された。続いて、以下の 2 大会に関する決算報告が行われ、審議の結果、いずれも承認された。なお、関東ジョイフル大会については、他大会との整合性を図るため参加費を従来の 25,000 円から 20,000 円に引き下げて実施した旨が補足された。

大会名	収入の部	支出の部	差引残額
関東ジョイフル大会	270,000 円	266,890 円	3,110 円
JD リーグ 第 14 節	1,892,500 円	1,284,824 円	607,676 円

特に、JD リーグの決算において大幅な黒字が生じた点について、理事長より補足説明があった。これは、開催予定だった土日の試合が雨天で中止となり、試合運営に関わる経費が大幅に削減された一方で、リーグからの運営委託費は満額支払われたことによるものである。

・**4.2. 規約・内規改正案** 協会のガバナンス強化と、迅速かつ円滑な情報共有体制の構築を目

的として、規約・内規の改正案が提案された。主要な改正点は以下の通り。

- **常務理事・常務理事会の新設:** 業務執行の中核を担う機関として明確に位置づける。
 - **理事会の再定義:** 全役員が参加する理事会を、重要案件発生時に理事長が必要に応じて招集する会議体とする。
 - **顧問・参与の役割明確化:** これまで曖昧だった就任基準と任務を明文化し、組織運営への貢献を明確にする。
 - **各専門委員会の義務化:** 全ての専門委員会に対し、年2回以上の委員会開催と、その結果の常務理事会への報告を義務付ける。
 - **呼称変更:** 大会名称の変更に伴い、規約内の「国民体育大会」を「国民スポーツ大会」に修正する。
- ・本改正案は審議の結果、全会一致で承認され、**令和8年3月14日開催の評議員会**に提案されることが決定した。
- ・**4.3. 次期役員選考委員会の経過報告** 役員選考委員会より、次期役員の選考状況について中間報告があった。理事長候補者については内定の運びとなったが、会長候補者については現在も調整が継続しているとのこと。最終的な決定がなされ次第、改めて理事会に報告されることが確認された。
- ・**4.4. 令和8年度競技計画案** 来年度の事業の根幹となる競技計画案について、以下の主要な変更方針（統一案件）が示され、審議された。
1. **開会式の実施対象の限定:** 普及奨励と観客動員の観点から、保護者やスカウト等の来場者が多い小中学生の大会のみ、開会式を原則として実施する。その他の種別については、チームの負担を考慮し、原則として実施しない方針とする。
 2. **代理抽選方式の全面導入:** チームの移動負担や経済的負担を軽減するため、学連主管の大会を除く**全種別において代理抽選方式**を原則とする。
 3. **補助金算出基準の見直し:** 近年のチーム数減少の実態を鑑み、赤字決算を回避するため、補助金額の算出基準を見直す。前年度の登録チーム数から**1~2チーム減少することを前提**に予算を編成し、補助金額を算出する。
 4. **支部割当数の見直し:** より実態に即した大会運営を行うため、**7月20日時点の登録チーム数**を基準とし、各大会の支部割当数を改定する。
 5. **出場資格の見直し:** 参加チーム数の確保と競技レベルの維持を両立させるため、県大会（県どまり）においては未登録チームの参加を認める一方、クラブチームの一般大会への出場を制限するなど、種別ごとの出場資格を厳格化する。
 6. **種別呼称の整理:** 日本ソフトボール協会の規定に準拠し、「一般女子」を「レディース」「男子」を「一般男子」に改めるなど、混乱を避けるために種別呼称を統一する。
- ・上記方針に基づき、シニア大会や一般男子大会等の支部割当数が具体的に変更された。質疑応答では、以下の点が確認された。
- **予算編成と大会運営:** 補助金算出の際はチーム数減を想定するが、大会計画（会場確保

等)においては前年度登録チーム数を最大値として準備を進める。

。登録期限の解釈: 日本協会への6月30日の登録期限は、あくまで全国大会に繋がる県予選会への出場資格を得るためのものである。それ以降のチーム登録も可能であり、県止まりの大会への参加は妨げられない。

。未登録チームの参加手続き: 県止まりの大会に未登録チームが参加する場合、日本協会の登録システム(シクミネット)を介さず、紙ベースでの選手名簿提出による参加を認める。

・本計画案は、審議の結果、承認された。

・4.5. 令和8年度予算案 現時点では暫定的な予算案であるとの前置きの上で、令和8年度予算案が提出された。収入の部では、加盟登録料の微減や補助金の微増が見込まれる。支出の部では、事業費および管理費が前年度と比較して削減される計画となっている。特に、協会の財産である繰越金が近年減少傾向にあるという財務的な課題が指摘され、健全な財政運営の必要性が共有された。本暫定予算案は審議の結果、承認された。最終的な予算案は、決算確定後に改めて提示される。

これらの協議事項の承認を受け、次に各専門委員会からの具体的な活動報告が行われた。

5. 各委員会からの報告

協会の具体的な事業推進を担う各専門委員会の活動は、協会の目的達成に不可欠である。本セクションでは、主要な委員会からの活動報告と今後の計画が共有された。

・5.1. 高体連委員会: 令和9年度関東高等学校大会の開催計画 令和9年度に埼玉県が主管となる関東高等学校大会について、基本計画が報告された。開催日程は令和9年6月5日(土)～6日(日)、会場は熊谷市の荒川緑地公園および戸田市の道満グリーンパークグラウンドを使用する。開会式は前日の6月4日(金)上尾市のスポーツ総合センターアリーナで実施する予定である。

・また、本大会と同日程で開催が見込まれる関東大学選手権との会場重複について質疑があり、関東ソフトボール協会常務理事会にて、今後は男女の大会を別会場で開催する方針が決定されたとの報告があった。これにより、埼玉県が主管する場合でも必要面数が8面から4面に減少し、会場確保の負担が大幅に軽減される見通しとなった。

・5.2. 指導者委員会: 公認指導者育成事業について 指導者の資質向上と育成に関する以下の3点が報告された。

。公認コーチ1養成講習会の開催計画: 近年、受講希望者が増加していることを受け、来年度、協会による自主開催形式での講習会実施を計画している。

。義務研修の再開: 指導者資格の更新に必須である義務研修について、これまで開催が困難な状況にあったが、城西大学の全面的な協力により、埼玉県内での研修会を再開できる見通しが立った。

。資格登録更新料の値上げ: 日本スポーツ協会が定める指導者資格の登録更新料が、来年10月1日より値上げされる。改定後の料金は、デジタル申請で13,000円、紙媒体での申請で17,000円となる。

各委員会からの報告は、協会の活動が多岐にわたり、専門的な知見に基づいて推進されていることを示すものである。続いて、その他の重要事項に関する協議に移った。

6. その他

理事会で共有・協議されたその他の重要事項は以下の通り。

・**6.1. JSA 倫理コンプライアンス規程違反** 県内登録チーム「XXXXXXXXXX」所属の選手が、奈良県のチームにおいて実弟の名を騙り、不正に出場した事案が発覚した。日本ソフトボール協会の倫理コンプライアンス委員会による調査の結果、当該選手に対し **1 年間の出場停止処分**が科されたことが正式に報告された。同様の不正行為の再発防止に向け、各支部での注意喚起が強く要請された。

・**6.2. 登録料未払い** 登録料が未払いとなっていた 2 チームのうち、「XXXXXXXXXX」については入金が確認された。しかし、残り 1 チーム「XXXXXXXXXX」については依然として未払いの状況であり、引き続き支払いの督促を行うよう県西支部協会に要請した。

・**6.3. 新旧ボールの取り扱いに関する決定** 来年度からの新意匠ボールへの移行に伴い、その取り扱いについて審議が行われた。新ボールの製造過程で生じる「バリ」は不良品ではないとのメーカー見解が共有された上で、以下の統一ルールが決定された。

◦ **移行期間:** 令和 8 年度の 1 年間に限り、全国大会に繋がらない県大会（県止まりの大会）では、旧 2 号球、旧 3 号球の使用を認める。

◦ **完全移行:** 令和 9 年度からは、全ての公式大会で使用球を新意匠ボール（11 インチ・12 インチ）に完全移行する。

◦ **運用:** 大会の主催者は、大会要項に使用球（旧 3 号球または新意匠ボール）を必ず明記しなければならない。また、1 つの試合中に新旧ボールを混在させて使用することは、これを固く禁ずる。

・**6.4. 指導者によるハラスメント防止の注意喚起** 理事長より、全国的に指導者によるパワーハラスメントの告発、特に保護者からの告発が後を絶たない現状について、強い懸念が表明された。指導現場におけるコンプライアンス遵守の徹底が改めて強く求められ、全理事・役員が意識を高く持つ必要性が強調された。

7. 事務連絡

事務局より、以下の連絡事項が共有された。

・今後の会議日程:

- 専門委員長会: 令和 8 年 1 月 17 日（土）岩槻駅東口コミュニティセンター
- 第 4 回理事会: 令和 8 年 1 月 17 日（土） 同上
- 第 5 回理事会: 令和 8 年 2 月 21 日（土）岸町公民館
- 評議員会: 令和 8 年 3 月 14 日（土）ときわ会館

・納会について:

- 日時: 令和 7 年 12 月 13 日（土） 12 時 30 分開始
- 参加予定人数: 37 名

8. 閉会

保崎副会長より閉会の挨拶があり、来年度に控える大規模な主管大会の成功と、ボール問題への円滑な対応に向けて、全役員の協力が呼びかけられた。

以上をもって、午前11時50分、第3回理事会は閉会した。